

令和7年（2025年）1月1日発行



2025年 年頭の辞

地域・社会が学生を育む



学長
竹内 貞雄

新年のお慶びを申し上げます。昨年、学生フォーミュラ日本大会において全国総合6位、NHK学生ロボコン代表選考会への出場やアマチュア無線コンテスト（電信電話部門マルチオペ2波種目）全国1位等、学生の活躍が形となる1年でした。学生主体のキャンパスづくりが目に見える成果として実を結びつつあるものと感じています。

大学では、埼玉県教育委員会や白岡市及び福島県楢葉町との包括連携協定の他、宮代町のゼロカーボンシティ実現のための覚書を締結する等、地域・社会との連携強化を推進しました。

教育・研究面では、昨年4月「スマート農業センター」を開設し、地

域課題の解決を推進しました。農業とテクノロジーを融合し、ドローン技術、IoTやICT等を掛け合わせ「ドローンを活用した農作業の省力化等」を推進する点が本センターの強みです。先端技術が農作業を支援することで、地域課題の「担い手不足解消」に繋げることも研究目標の一つに掲げています。教育的な側面では、学生が農地に赴き生産者と協働して、工学的なアプローチで課題解決に取り組むプロセスも重視しています。

また、高大連携の面では、昨年5月「DXハイスクール支援プロジェクト」を立ち上げ、杉戸高等学校や草加南高等学校等の「DXハイスクール認定校」における情報教育等

を支援しました。昨年11月の「埼玉県教育委員会との包括連携協定締結」は、県内の理系人材や産業人材の育成を支援することを目指しています。これらの連携協力を足掛かりに、これまで以上に県内普通高校等との関係強化を図り、結果として安定的な学生確保にも繋げたいと考えています。

地域社会とのつながりは、学生が成長するステージを創り出すことに他なりません。実社会の課題に直面し、創意・工夫をすることで学生は飛躍的に成長します。学長任期2年目を迎え、本年も様々な改革に着手したいと考えております。教職員とともに目標達成に向けて尽力して参ります。

人間のためのテクノロジー



理事長
柳澤 章

2025年が明けました。昨年元旦に発生した能登半島地震から1年が経ちます。1日も早い復興を願っております。

頻発する自然災害と厳しい状況下にある世界の動向は、同時に科学技術と人・社会のあり方について、私たちに多くの問いを投げかけています。テクノロジーを探究する私たちにおいても、欠かせない視点の一つとなっていると言えるでしょう。

今年、大阪・関西万博が、そして東京・静岡・福島でデフリンピックが開催されます。万博は未来社会の実験場を謳うとともに、あるパビリオンを担うプロデューサーは、巨大なテクノロジーを手に入れた人間の責任として未来を考えつくりたいか

なければならぬと述べています。デフリンピックは、きこえない・きこえにくいアスリートのスポーツ大会です。幅広い人々が観戦を楽しめるように、競技中の音声を文字化する技術が注目されています。卓球ならカコンというボールの音やパチパチという拍手の音をテレビやモニター画面に文字で表示して、みんな

で盛り上がるということですね。技術は、それが活かされる場面への眼差しと気づきがあってこそ人々に受け入れられます。例えば、日本発の点字ブロック。近年はQRコードで目的地へのルートを案内するタイプもあるほか、ペルではブロックの縦棒と横棒の形で、病院、レストラン、食料品店など、そこにある建

物が何かを伝えてくれるものが登場しました。開発したセメント会社は、このノウハウをオープンソースとし、世界中の誰でもダウンロードできるようにしました。日本工業大学は、理論と実践を両輪とし、現場を重視するテクノロジーを長年培い、ものづくりのスピリッツを育み、産業界から高い評価を得てきました。近年では農業分野にも広がって、埼玉県など自治体からも関心が寄せられています。

研究室からフィールドへ、チューデントラボから地域へ、世界へ。今年は、どんなフィールドに日工大発のテクノロジー、ものづくりが展開していくのでしょうか。期待しましょう。

サウジ駐日大使 施設を見学、表敬訪問

10月28日、サウジアラビア王国のガーズィー・ビンザグル駐日大使が関係者とともに埼玉キャンパスを訪れ、学内施設を見学。柳澤章理事長、竹内貞雄学長を表敬訪問した。

一行は最初に建築学科の西本真一研究室を訪問。西本教授は2019年より同国の遺跡調査・研究に携わり、文化遺産の保護に協力してきた。大使はこうした功績に対して謝辞を述べ、これまでの研究成果や今後の取組みなどについて意見を交わした。その後、先端材料技術研究センター、工業技術博物館を訪れ、担当教員から説明を聞きながら見学した。

続いて一行は柳澤理事長、竹内学長と面会した。柳澤理事長は来学を歓迎し「本学では貴国からの留学生受け入れプロジェクトを実施した実績があり、強い繋がりをもっている。西本教授と進めている取り組みが実を結ぶことを祈念している」と挨拶した。

竹内学長は、我が国と同国と70年に及ぶ歴史を振り返ったうえで「プロジェクトでは優秀な留学生を送っていただき感謝している。本学の研究を通じて貴国に貢献することができ、とても嬉しい。こうした交流が両国の発展に役立つことを願っている」と述べた。

これに対しビンザグル大使は「今後も両国の関係が一層広がっていくことを願っている。そのためにも、学術分野における人材交流が重要と考えている。共に課題を克服し、両国の夢を実現させていきたい」と期待した。



(左より) 柳澤理事長、ビンザグル大使、竹内学長

日本工業大学 学部 2025年度入試日程

【基幹工学部】機械工学科/電気情報工学科/環境生命化学科 【先進工学部】ロボティクス学科/情報メディア工学科/データサイエンス学科 【建築学部】建築学科(建築コース/生活環境デザインコース)

入試種別	日程						
総合型選抜 (活動アビリティ型) 第2期	出願期間 1/ 7(火)~1/20(月) Web受付開始12/16(月) 試験日と試験会場 1/30(木) 埼玉キャンパス 合格発表日 2/ 5(水)						
一般選抜	<table><thead><tr><th>一般選抜A</th><th>一般選抜B</th></tr></thead><tbody><tr><td>出願期間 1/ 7(火)~1/21(火) Web受付開始12/16(月) 試験日と試験会場 1/29(水) 埼玉キャンパス、仙台、水戸、宇都宮、高崎、柏、千葉、池袋 合格発表日 2/ 5(水)</td><td>出願期間 2/ 3(月)~2/13(木) Web受付開始1/27(月) 試験日と試験会場 2/18(火) 埼玉キャンパス、柏、池袋 合格発表日 2/26(水)</td></tr></tbody></table>	一般選抜A	一般選抜B	出願期間 1/ 7(火)~1/21(火) Web受付開始12/16(月) 試験日と試験会場 1/29(水) 埼玉キャンパス、仙台、水戸、宇都宮、高崎、柏、千葉、池袋 合格発表日 2/ 5(水)	出願期間 2/ 3(月)~2/13(木) Web受付開始1/27(月) 試験日と試験会場 2/18(火) 埼玉キャンパス、柏、池袋 合格発表日 2/26(水)		
一般選抜A	一般選抜B						
出願期間 1/ 7(火)~1/21(火) Web受付開始12/16(月) 試験日と試験会場 1/29(水) 埼玉キャンパス、仙台、水戸、宇都宮、高崎、柏、千葉、池袋 合格発表日 2/ 5(水)	出願期間 2/ 3(月)~2/13(木) Web受付開始1/27(月) 試験日と試験会場 2/18(火) 埼玉キャンパス、柏、池袋 合格発表日 2/26(水)						
一般選抜 英語外部試験利用	出願期間 2/ 3(月)~2/13(木) Web受付開始1/27(月) 試験日と試験会場 2/18(火) 埼玉キャンパス、柏、池袋 合格発表日 2/26(水)						
3月入試	出願期間 2/17(月)~3/ 3(月) Web受付開始2/10(月) 試験日と試験会場 3/ 8(土) 埼玉キャンパス 合格発表日 3/14(金)						
共通テスト利用	<table><thead><tr><th>共通テスト利用A</th><th>共通テスト利用B</th><th>共通テスト利用C</th></tr></thead><tbody><tr><td>出願期間 1/7(火)~2/5(水) Web受付開始12/16(月) 大学入学共通テスト実施日 1/18(土)・19(日) ※本学での個別学力試験等は実施いたしません 合格発表日 2/14(金)</td><td>出願期間 2/3(月)~2/13(木) Web受付開始1/27(月) 合格発表日 2/26(水)</td><td>出願期間 2/17(月)~3/5(水) Web受付開始2/10(月) 合格発表日 3/14(金)</td></tr></tbody></table>	共通テスト利用A	共通テスト利用B	共通テスト利用C	出願期間 1/7(火)~2/5(水) Web受付開始12/16(月) 大学入学共通テスト実施日 1/18(土)・19(日) ※本学での個別学力試験等は実施いたしません 合格発表日 2/14(金)	出願期間 2/3(月)~2/13(木) Web受付開始1/27(月) 合格発表日 2/26(水)	出願期間 2/17(月)~3/5(水) Web受付開始2/10(月) 合格発表日 3/14(金)
共通テスト利用A	共通テスト利用B	共通テスト利用C					
出願期間 1/7(火)~2/5(水) Web受付開始12/16(月) 大学入学共通テスト実施日 1/18(土)・19(日) ※本学での個別学力試験等は実施いたしません 合格発表日 2/14(金)	出願期間 2/3(月)~2/13(木) Web受付開始1/27(月) 合格発表日 2/26(水)	出願期間 2/17(月)~3/5(水) Web受付開始2/10(月) 合格発表日 3/14(金)					
外国人留学生入試	<table><thead><tr><th>第2期</th><th>第3期</th></tr></thead><tbody><tr><td>出願期間 1/ 7(火)~1/20(月) Web受付開始12/16(月) 試験日と試験会場 1/30(木) 埼玉キャンパス 合格発表日 2/ 5(水)</td><td>出願期間 2/10(月)~2/27(木) Web受付開始2/3(月) 試験日と試験会場 3/ 8(土) 埼玉キャンパス 合格発表日 3/14(金)</td></tr></tbody></table>	第2期	第3期	出願期間 1/ 7(火)~1/20(月) Web受付開始12/16(月) 試験日と試験会場 1/30(木) 埼玉キャンパス 合格発表日 2/ 5(水)	出願期間 2/10(月)~2/27(木) Web受付開始2/3(月) 試験日と試験会場 3/ 8(土) 埼玉キャンパス 合格発表日 3/14(金)		
第2期	第3期						
出願期間 1/ 7(火)~1/20(月) Web受付開始12/16(月) 試験日と試験会場 1/30(木) 埼玉キャンパス 合格発表日 2/ 5(水)	出願期間 2/10(月)~2/27(木) Web受付開始2/3(月) 試験日と試験会場 3/ 8(土) 埼玉キャンパス 合格発表日 3/14(金)						

入試
チェック
ポイント

①入試奨学金20万円給付！充実の奨学金制度。昨年度実績501名！【一般選抜と共通テスト利用の成績優秀者】
②同時出願制あり！共通テスト利用は複数学科・コースに出願しても入学検定料が一律1.5万円！【一般選抜・共通テスト利用】
③試験会場は全国8カ所 地元で受験できます！【一般選抜】
④他大学と併願受験しやすい日程！さらに、試験教科で国語が選択できるようになりました！【一般選抜】
●各入試の詳細は受験生サイトに掲載しているそれぞれの「募集要項」でご確認ください。

募集要項ページはこちら

お問い合わせ先 TEL.0120-250-267(入試課) URL https://www.nit.ac.jp

本学で先端技術研究の取り組みを！

大学院生募集（日本工業大学大学院 一般入学試験・社会人特別選抜）

◆大学院工学研究科
博士前期課程・博士後期課程

*環境共生システム学専攻
*電子情報メディア工学専攻

*機械システム工学専攻
*建築デザイン学専攻

■2025年度入試日程

	日程									
	<table><thead><tr><th>出願期間</th><th>面接試験</th><th>合格発表</th><th>手続締切</th></tr></thead><tbody><tr><td>二次募集</td><td>2月3日~2月7日</td><td>2月13日</td><td>2月28日</td><td>3月6日</td></tr></tbody></table>	出願期間	面接試験	合格発表	手続締切	二次募集	2月3日~2月7日	2月13日	2月28日	3月6日
出願期間	面接試験	合格発表	手続締切							
二次募集	2月3日~2月7日	2月13日	2月28日	3月6日						

お問合せ先：教務部教務課 大学院入試係 TEL 0480-33-7507 E-mail：kyomu@nit.ac.jp

日本工業大学 専門職大学院(大学院技術経営研究科技術経営専攻)

中小企業経営コース／事業創設コース／中小企業診断コース

働きながら学べる専門職大学院 第21期生 募集！

■2025年度 専門職大学院 入試日程

	出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
第3回募集	2月3日~2月10日	2月23日	2月28日	3月10日

願書のご請求およびお問い合わせ先：
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5 日本工業大学 専門職大学院
TEL：03-3511-7591 FAX：03-3511-7594 メール：mot@kanda.nit.ac.jp

安全教育の日

ガイドブック完成を報告 特別講演会を開催

本学は安全教育の推進を全学的に共有することを目的として11月6日を「安全教育の日」と定め、教職員の意識向上に努めている。今年度は11月7日、リスクマネジメント専門の講師を招き、全教職員対象の講演会が開催された。



講師の河合氏

講演に先立ち、竹内学長が学生・教職員向けの「安全・安心ガイドブック」の完成を報告し、「この中に、本学における安全教育の内容が全て網羅されている。各学科や施設で取り組んでいる安全教育の内容を整理し、学内外に明確に示すことができるようになった」と発言目的を説明した。続いてMS&A

「Dインターステック総研コンサルタントの河合潤氏が発壇し「さまざまな場面を考えるリスクと安全対策」をテーマに講演を行った。河合氏は「ヒューマンエラーには大別して「うっかりミスによる『偶発型』、意図的に行う『違反型』の2タイプがあり、予防方法も異なってくる」として

対応方法を解説。ヒューマンエラーを体験するための動画や数字を使ったクイズを交えながら、わかりやすく説明した。事故は、起こした本人だけに原因があるのではなく、複数の背景要因が絡んでいる。要因とは道具や設備などの「ハード」、上司や同僚などの「他の人」、ルールやマニュアルなどの「ソフト」、照明や騒音などの「環境」、制度や体制などの「管理」である。河合氏は「みんなで優先順位を決めて対策を立て、その遵守を継続していくことが大切だ。それがリスク軽減、安全性向上につながる」とまとめた。



ガイドブックは全在学生在に配布される

ホームカミングデー

旧友・恩師と再会

10月26日、本学主催、工友会協賛の第21回ホームカミングデーがダイニングホール（学生食堂）において開催された。今回は卒業生177名、現職・退職教職員54名が参加。同伴者などを含めると参加総数は約300名であった。



懇親会の様子

懇親会では本学吹奏楽団による心とむ演奏の中、参加者が会食を楽しみながら、恩師や旧友と交流する様子が見られた。また今年度の工友会奨学金受給者9名が土井会長から紹介された。最後に参加者全員で校歌を合唱し閉会となった。



専門職大学院だより 今年の目標を実現しよう！

大学院技術経営研究科 教授 萬代 憲司

昨年を振り返ると、天災、戦争、パリオリンピック、パリンピック、主要国のリーダー交代など、多くの出来事が起こった1年であった。その中で我々に喜び、驚きとワクワクを与えていたのは、大谷翔平選手の活躍と言えるのではないかと。年初の結婚発表から始まり、ドジャースへの移籍、50・50達成、ワールドシリーズ制覇、3度目のMVPなど、1年を通じて嬉しいニュースを届けてくれた。

大谷選手が17歳の時に70歳までの「人生設計ノート」を作成したのは有名な話である。実際に現在の年齢である30歳までのノートに記載された内容の多くを実現しているのは素晴らしい。その実現をサポートしたのが、大谷選手によって有名になったマンダラチャートと彼自身の努力であるのは間違いない。

脳科学によると、脳は思考を肯定化すると言われている。成功すると思えば成功するし、失敗すると思えば失敗するのである。よって、「こうなったらいいな」という希望的な表現ではなく、「こうなる／すること」を断定して思考することにより、実現可能性が高まるのである。

また、実現する目標を明確にするだけではな

学生自治会活動を充実させたい

学生自治会中央執行委員長 就任挨拶



基幹工学部機械工学科3年
(埼玉県立狭山工業高等学校卒業)

中林 彩登

新年あけましておめでございます。皆様のおかげで、引き続き学生自治会活動を、より盛んで充実したものにするよう、微力ながら尽力いたします。

中央執行委員会は、今後の学生自治会を有意義な場にするために、皆様のご意見・ご要望に耳を傾け、学生の動き・考えに心をもち、さらなる発展に努力して参ります。

最後にありますが、日本工業大学と学生自治会のより一層の繁栄を祈願し、中央執行委員長の就任の挨拶とさせていただきます。

若杉祭 テーマ「万雷」



メインステージで音楽サークルのライブを開催



各サークルは趣向を凝らした模擬店を出店

10月26日・27日、第56回若杉祭(大学祭)が埼玉キャンパスにおいて開催された。今回のテーマは、四方八方に轟く、盛大な若杉祭にしたいとの学生の思いから「万雷」となった。飲食販売等の模擬店や展示、体験イベント、毎年恒例「秋のからっ風こんさあと」、「声優トークショー」などが催され、学内外問わず多くの来場者で賑わった。また、2日目のフィナーレには、打ち上げ花火や抽選会が行われた。来場者数は約3,000名となり、テーマに相応しい盛り上がりとなった。

体育祭 (屋外・e-sports)

11月16日・17日に体育祭が開催された。1日目は陸上競技場にてリレー・大縄跳びなど全4種目の屋外スポーツ競技大会、2日目は本館教室にてマリオカートなど全2種目の「e-sports大会」が実施された。課外活動団体を中心に、両日合わせて150名程度の学生が参加し、スポーツマンシップに則った競技を心掛け、グラウンドや教室で歓声を響かせる熱戦を繰り広げた。両日も秋晴れの下、参加した多くの学生が充実した時間を過ごし、参加者同士の交流を深めることができた。



グラウンドで行われた屋外競技



大教室で行われたe-sports

専門職大学院
オープンキャンパス
1/25(土) 13:30-16:15
大学院紹介、模擬授業、パネルディスカッションなど
※予定変更となる場合があります。最新情報はウェブサイトでご確認ください
TEL. 03-3511-7591 mot@kanda.nit.ac.jp

埼玉県杉戸警察署に協力

警察航空機臨時発着 野球場の利用に合意

本学は埼玉県杉戸警察署からの依頼を受け、埼玉キャンパスの野球場を意図して利用することになった。災害発生時の人命救助、総合交通対策、重大事件や事故発生時の捜査等における警察活動を効果的に実施し、埼玉県及び周辺自治体における安全と秩序の維持、個人の生命や財産の保護を



竹内学長（右）と奥富署長

10月26日、竹内学長、奥富署長が立ち合う中、警察航空機（ヘリコプター）の野球場への着陸デモンストレーションが実施された。この様子は一般にも公開され、当日は大学祭の開催期間中というところもある。多くの学生や近隣住民、航空ファンが見学に訪れた。着陸後には機体の見学や写真撮影も行われ、大変賑わっていた。

本学と同居は引き続き、正式な協定締結に向けて準備を進めていく。

図ることを目的としている。

天満宮奉納 少年・少女剣道大会



少年・少女の剣士が熱戦を繰り広げた

天満宮奉納少年・少女剣道大会が、11月2日に本学武道場で開催された。今回の大会には、例年参加している地元の大宮区、友会、杉戸西剣友会以外に、大学近隣の二つの剣友会を初めて招待した。当日は朝から冷たい雨の降る肌寒い天気であったが、少年・少女剣士達の元気な声と、応援に駆け付けた多くの保護者達の熱心な声援で、会場は熱気に包まれていた。

初参加の剣友会もあり、いつもの大会とは一味違った、賑やかさと緊張感が溢れる充実した大会となった。

栃木市の小学生親子が ものづくり体験



学生の指導を受けながらロボットを製作

10月26日、栃木市の小学生と保護者34名が来学し、ものづくり体験、講演会、施設見学などを通して科学への理解と関心を深めた。

ものづくり体験では光源追跡ロボットを製作。ロボティクス学科の浦川慎之教授と学生の指導を受けながら、はんだごて

等道具を用いてロボットキットを製作した。「ウチとおいっちはどこへ行く」をテーマに行われた環境講演会では、建築学科生活環境デザインコースの樋口佳樹教授から、自然に優しい排せつ物の循環と未来の環境等について学んだ。

施設見学では、工業技術博物館のSL乗車体験と箱根登山鉄道の展示見学を実施した。

参加者からは「貴重な体験ができて楽しかった」「科学や工学に興味を持った」といった感想が聞かれた。

教職員対象の研修会を実施

パワハラ・セクハラを未然に防ぐには

9月24日、教職員向けの教育改革シンポジウムが開催された。今回はハラスメントに対する正しい認識を持ったうえで未然に防止すること、コミュニケーションの停滞を解消して職場環境を改善することを目的としている。

講師にANAビジネスソリューションで専属講師を務める北敏枝氏を招き「職場のパワハラ・セクハラを未然に防ぐには」をテーマに講演が行われた。

北氏はハラスメントの定義と種類、ハラスメントが及ぼす影響や防止の重要性、人による感じ方



講師の北氏

笑いの効果で 心と体のリフレッシュ



講師の三遊亭楽春氏

10月31日、講師に落語家の三遊亭楽春氏を招き「笑いの効果で心と体のリフレッシュ」笑いで楽しくコミュニケーション」と題した講演が開催された。楽春氏は1985年に五代目三遊亭内楽に入門し、40年以上の芸歴を持つ。一方でメンタル心理、福祉心理カウンセラーなど30種以上の資格を取得し、これまで全国で1000件以上の講演実績がある。

今回の講演は学校運営や教育現場などの場面における、学生や保護者、同僚に対する教職員のコミュニケーション力向上を目的としている。

ビジネスプランコンテスト

学長賞はマレーシア向け結婚情報サービスのプラン

10月28日、第19回ビジネスプランコンテストが学友会館ホールにおいて開催され、全90件の中からファイナリストに選ばれた9名がプレゼンテーションを行った。グランプリとなる学長賞にデータサイエンス学科3年のス・ゼン・ドンさん、観客からの投票結果で決定するオーディエンス賞に同学科3年の西司さんが選ばれた。

受賞に当たりス・ゼンさんは「発表は緊張したが、ビジネスプランの魅力を伝えることが出来てとても嬉しい」、西さんは「面接やプレゼン練習のアプリのプランであり、プレゼンにもハードルを上げて挑戦したが、皆様の評価を頂いて嬉しい」とコメントした。



学長賞のス・ゼン・ドンさん（左）



ス・ゼン・ドンさんのプレゼンテーション



セミファイナリストのポスター展示

賞	氏名（代表）	プラン名
学長賞	ス・ゼン・ドン	マレーシア向け結婚情報サービス「WedPro」
NITEC埼玉産学交流会賞	矢野 葵	竹細工ルームランクラフトキット
川口信用金庫賞	西 司	オンライン面接支援アプリ
宮代町長賞	松長 大翔	AIによるファッションサブスクリプションサービス「AutoMade」
杉戸町長賞	池田 平良	建築学生の砂場 好きな場所で好きなことを
イノベーション・起業教育センター長賞	井上 佳音	部屋も心も整える助け合いサービス
審査員特別賞	川崎 広大	IoTを活用した店舗型トレーラーハウス
優秀賞	久米田 龍聖	旅の道草ボランティア
優秀賞	木内 空妃	痴漢を周囲の人に知らせることができるアプリ

観覧者による投票結果で決定する『オーディエンス賞』には、西 司さんの『オンライン面接支援アプリ』が選ばれました。



本学から企業賞「日本工業大学賞」を授与（昨年）

332校、埼玉大会で204名9校がエントリーした。本学は昨年度から埼玉県大会のゴールドパートナーとして協賛しており、3月10日の最終審査では日本工業大学賞も授与される。

「SDGsクエスト みらい甲子園」に協賛

高校生たちがチームを組む、SDGsの目標達成に向けたアクションアイデアを提案するコンテスト。新学習指導要領に記載されている「持続可能な社会の担い手」育成のため、SDGsを起点とした社会課題解決に向けた行動を促す機会の創発を目指す。昨年度は全国19エリアで7255名

国内最大級の環境展示会 エコプロ2024に3団体が出展

12月4日から3日間、東京ビッグサイトで開催されたSDGs Week-EXPO2024（エコプロ：来場約6万人）に本学から3団体が出展。学生環境推進委員会は年間活動実績のパネル展示、ロボティクス学科滝田研究室は3Dブ

リント作製ミニロボ型キャラクターを紹介。SDGs for Engineersブースでは学生、伴教授、内田教授が食品廃棄物からの有機物資源化の研究成果をPRした。連日、小中学生をはじめ多くの人が両ブースを訪れた。



学生環境推進委員会・滝田研究室



SDGs for Engineers

体育館に 空調機導入

本年度の後援会特別事業として7月、体育館のアリーナ部分に対流式冷暖房装置を10台、ステジ下および2階トレーニングルームに壁掛けエアコンを10台設置した。

体育館は授業やサークル活動のほか、入学式などのイベント会場、災害時避難場所としても利用されており、近年は特に熱中症対策が求められていた。運用から半年経ち、学生からは「猛暑日の日中でも快適に練習ができ、体調管理も楽になった」と大変好評である。

brilliant student賞／読書チャレンジ

10月4日、学生の課外活動や社会貢献の実績を称えるbrilliant student賞の表彰式が行われた。今年は競技会で総合6位のフォーミュラ工房、全日本理工科学生柔道優勝大会部門2位の穴戸航太郎さんが受賞した。

続いて、読書チャレンジの表彰式が行われた。LCセンター（図書館）主催の感想文コンテストで、学生の問題意識や想像力の育成を目指す。今回の指定書籍はSF作家星新一氏の短編小説で、自選の関連書籍と併せた感想文を募集し、優秀賞と佳作を選出した。



brilliant student賞を受賞したフォーミュラ工房（左）と穴戸さん



（左）読書チャレンジ優秀賞：（左より）今井さん、柴田さん、川島さん ※いずれも左端は（右）同佳作：（左より）関口さん、坂本さん、大瀧さん、新井さん 中野教授



とほ違い、低分子と植物由来の天然材料を用いた点、ポスターで簡明に説明した点が評価された。

高分子学会 優秀ポスター発表賞

環境共生システム専攻1年（新倉研究室）の中路千咲さんが8月27日、高分子学会関東支部講演会にて優秀ポスター発表賞を受賞した。受賞論文は「アザクラウンエーテルタンニン酸複合体への薬物内包に及ぼす2価イオンの効果」。



電気学会 奨励賞

電子情報メディア工学（荒川研究室）の井出達樹さん（静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センター所属）が9月5日、電気学会電子・情報・システム部門大会において奨励賞を受賞した。受賞研究名は「深層学習を用いた牛の分娩検知技術の開発」。

奨励賞

「深層学習を用いた牛の分娩検知技術の開発」。



デジタルライフ会議 優秀発表賞

データサイエンス学科の荒川俊也教授が9月16日、第2回カンファレンス・オブ・デジタルライフにて「津波避難時にどうすれば避難者は車を乗り捨てて行動に影響を与えないか？」を発表し、優秀発表賞を受賞した。

デジタルライフ会議 優秀発表賞

防災・減災研究にシミュレータ技術が有用であることを訴求したと共に、シミュレータ技術を活用した研究事例として、車避難と乗り捨てを体験できるシミュレータを活用した実験により、津波避難時の車両乗り捨て行動に影響を与える要因を明らかにした。受賞に際し荒川教授は「防災・減災に関してシミュレータ技術の有用性を訴求できた。これによって今までにない知見が獲得できることを期待する」と述べた。



（左より）李さん、早見さん、横山さん

国際教育プログラム SP!ED 2024で受賞

国際教育プログラムSP!ED 2024が8月19日から8日間、山口大学工学部で開催され、情報メディア工学科3年の横山太一さん、同科4年（呉本研究室）の早見めぐるさん、電子情報メディア専攻博士前期課程1年（同研究室）の李浩田さんが参加したチームがそれぞれ最高賞、銅賞、金賞を受賞した。

国際教育プログラム SP!ED 2024で受賞

電子情報通信学会 最優秀・優秀ポスター賞

8月30日、電子情報通信学会コミュニケーションシンポジウムにて、電子情報メディア工学専攻博士前期課程2年（平栗研究室）の高橋優真さんが最優秀ポスター賞、同専攻博士後期課程1年（同研究室）の遠藤啓太さんが優秀ポスター賞を受賞した。高橋優真さんの受賞研究は「電力のバケット変換を用いたスケジューリング手法の提案」。



（左より）高橋さん、遠藤さん

伝送をバケットに換算し通信トラフィックとして制御することで、従来の通信技術に応用できる点が評価された。

遠藤啓太さんの受賞研究は「農学的ナシ開花モデルと連携した機械学習による最適なナシ花粉採取時期推定手法」。

非線形ワークショップ 各賞を受賞



（左より）小竹さん、仲野さん、稲葉さん、仲島さん

9月3日、非線形ワークショップ夏の大会において、電子情報メディア工学専攻、電気電子通信工学科の学生が各賞を受賞した。

電子情報メディア工学専攻博士前期課程2年（木村研究室）の稲葉賢駿さんは「次世代道路網に対する広範囲の混雑情報を用いた経路制御手法の性能評価」の研究、電気電子通信工学科4年（同研究室）の仲野壮さんは「時間枠制約付き配送計画問題に対する学習則を用いた適応的蟻コロニー最適化法の研究で優秀発表賞を受賞した。」

加えたカオス探索法の性能調査」の研究で最優秀発表賞を受賞した。

また、電子情報メディア工学専攻博士前期課程2年（同研究室）の仲島和真さんは「ドローンを用いた配送計画問題に対するカオス探索法のサロゲート法を用いた性能解析」の研究で、同専攻博士前期課程1年（同研究室）小竹望未さんは「時間枠制約付き配送計画問題に対するSimulated Annealingを用いた適応的蟻コロニー最適化法の研究で優秀発表賞を受賞した。」

インドの高校生が 実工学と日本文化を体験



講義を受けるインドの生徒たち

科学技術振興機構の国際交流事業「さくらサイエンスプログラム」を活用して、昨年9月4日から約1週間にわたり、インド共和国タミル・ナード州カルルル県にあるスリ・サンカラ・ヴィディヤラヤ高校とバニヴィディヤラヤ高校から生徒7名、引率者1名の計8名が来日した。滞在期間中、埼玉キャンパスの施設見学をはじめ、学内では機械工学科、ロボティクス学科にて実工学の講義や実習を体験した。

フィールドトリップではJR在来線、ゆりかもめ、新幹線などを体験した。

使い日本科学未来館、日本工業大学駒場中学校・高等学校を往訪した。和楽器演奏会の鑑賞も経験し、日本の科学技術や伝統文化を目の当たりにしたインドの高校生が積極的に日本語を使ってコミュニケーションをとる姿が印象的であった。

受験生向け 入試対策講座

10月27日、12月15日に学力試験入試（総合型選抜（基礎学力型）・一般選抜）受験生を対象とした入試対策講座を開講した。試験科目の数学、理科（物理・化学）、国語（英語）について担当教員が出題傾向や対策を説明。希望者には学生によるキャンパスツアー、個別相談、保護者向け説明会、在学生トークショーなどのイベントも実施した。

国外出張

◆劉斐准教授（共通教育学群）／出張先：中国（10/9～10/15）／目的：2025年度協定機関・業務委任機関における外国人留学生入試実施に関する外国人留学生入試実施スライド／出張先：アメリカ（11/2～11/8）／目的：IECON（米国電気電子学会産業電子部門年次大会）2024で研究発表

人事異動

◆庄司尚貴事務職員（総務課）／網中修斗事務職員（財務課）（11月1日付）
◆イノベーション・起業教育センター長 筒井研多教授（11月1日付）
◆浅野早百合学生支援課主任 嘱託職員↓学修支援センターに異動（12月31日）
◆今津耕作事務職員（総合企画室）（2024で研究発表）

叙勲

◆本学名誉教授である伊藤庸一先生が、令和6年秋の叙勲において瑞宝小綬章受章の栄に浴された。この受章は、先生の長年の功績によるものであり、先生のみなさん、本学にとっても大変喜ばしいものである。

宮代町の魅力を 身につけよう！

宮代町の魅力を一緒にPRしましょう！
町の建物や人物、取り組みなど、宮代町の魅力がたくさんつまった「みやしろ缶バッジ」をご存知ですか？ゆる〜いイラストが人気でどのシリーズも大好評です。まだ知らない町の魅力に出会えるかも？ぜひ缶バッジを服やカバンにつけて、宮代町の魅力を一緒にPRしましょう！
■設置場所 無印良品東武動物公園駅前 まちの案内所
■費用 1回100円
詳細はこちら



NIT Open Campus

3/22^土

詳細はこちら

大学・学科・キャンパス紹介
研究室紹介、ランチ体験、
個別進学相談など

入試情報

◆松浦隆文准教授（データサイエンス学科）／出張先：ベトナム（12/1～12/7）／目的：NOLTA・PHENIKA 2024 ネットワーク会議参加、2024年非線形理論とその応用に関する国際会議で研究発表

◆進藤卓也助教（電気電子通信工学科）／出張先：ベトナム（12/2～12/7）／目的：同前

◆佐藤進也教授（データサイエンス学科）／出張先：カタール（11/30～12/7）／目的：Web情報システムに関する国際会議（WISE2024）で研究発表

◆木村貴幸教授（電気電子通信工学科）／出張先：ベトナム（12/1～12/7）／目的：2024年非線形理論とその応用に関する国際会議で研究発表